

文献

鬼頭 和子, 鈴木 啓子, 平上 久美子. フットマッサージの効果に関する文献研究. 名桜大学紀要. 2014; 19: 193-199. 医中誌 web ID 2015042522

1. 目的

フットマッサージの有効性を検討する。

2. 研究デザイン

メタアナリシス

3. セッティング

非該当

4. 参加者

非該当

5. 介入

CINAIII の WEB 版に 2009 年から 2013 年に掲載された海外の論文を対象に、「massage」と「foot」のキーワードを掛け合わせた検索要件を満たし、かつ Abstract が付されていた 18 文献のうち、症例報告等の除外論文をスクリーニングして抽出された 6 論文を選定し検討を試みた。

6. 主なアウトカム評価項目

研究デザイン、目的及び介入方法、研究の対象領域と対象者、評価指標、生理的・心理的効果

7. 主な結果

①研究デザイン：準実験研究 4 件（うち、比較試験 3 件）、質的研究 3 件。②目的：妊娠後期浮腫の軽減（3 日連続 20 分ずつ介入）、帝王切開術後痛の軽減（5 日連続 20 分ずつ介入）、睡眠促進（5 週間に 10 回 5 分ずつ介入）、冠状動脈術後の血圧コントロール（1 回 60 分介入）、がん患者の遺族ケア（8 週 8 回 25 分ずつ介入）、がん患者を介護する家族ケア（4～5 回 25 分ずつ介入）。③対象領域：母性・老年・急性期・地域看護。④評価指標：足首・足背の測定、心電図・血圧等の記録観察、VAS（疼痛評価）、インタビュー（遺族・家族ケア）。⑤身体的効果：妊娠後期浮腫と帝王切開術後痛の軽減効果、心疾患患者の降圧と高齢者の睡眠促進効果があった。⑥心理的効果：遺族ケアでは「適切なタイミングでの支援」「頼るべき何か」「休息の時」「エネルギーを維持する時」の 4 つ、家族ケアでは「看護されている」「体の活力」「心の平和」の 3 つのカテゴリーがそれぞれ抽出された。

8. 結論

フットマッサージには浮腫・疼痛の軽減、降圧及び不眠の改善効果がある。患者の遺族・家族にはリラクゼーション、休息、肯定的感情を産み出す効果、介護負担の緩和効果がある。

9. 論文中の安全性評価

記載なし

10. Abstractor のコメント

フットマッサージの有効性をメタアナリシスの手法で検討した本研究は非常に興味深い。ただ、文献データベースに PubMed 等を加えたり、検索語に「shiatu」「anma」「suina」などの用語を追加したりすれば該当した論文が更に増えた可能性がある。また、比較群をおかない論文が含まれていたが論文のエビデンスレベルを担保する観点から除外するのが望ましかった。これらの課題を踏まえた更なる研究に期待したい。

11. Abstractor and date

藤井亮輔 2021. 11. 27